

三條別院のご案内

三條別院に想う

三條別院書道講座会場（教室）の研修室廊下の壁面には、「恩徳讃」が書かれた大きな扁額（パネル）が掲げられています。これは上は七十代から下は小学校低学年までがおよそ一文節ずつ分担して書いた講座受講生による共同作品です。それぞれ字の表情の違いや筆使いの巧拙はありますが、一様に緊張感が漂い、書作の誠実さが感ぜられるよい作品になりました。私が講師を担当してまもなくのことでしたので、この扁額が本書道講座の原点でありますし、取り組みの象徴であるともいえます。私は、毎回この作品をしつかりと見てから教室に入ることになっています。そして講座は真宗宗歌で始まります。一同ご本尊様に手を合わせ真宗宗歌を斉唱しますと、ピリツと空気が引き締まり、机上の紙面に立ち向かう姿勢が整っていくのです。

「ごぼうさま」といえば、境内で鬼ごっこをしたり、中庭の池でザリガニ釣りをしたりして暗くなるまで遊んだこと、もちろんお取り越しには友だちと約束をして、僅かの小銭を握りしめ参道の露天を巡り歩いた思い出は鮮明で、今でもその時々のごことは独特の興奮と共に蘇ります。子供の頃から慣れ親しんだその「ごぼうさま」にご縁があつて書道講座の講師を担当させていたでいているのは、以前職場で一緒に過ごしていたいただいた新潟市西蒲区石瀬の浄専寺ご住職堀川秀道先生のお計らいあつてのことですが、何か不思議な感じでございますし、有り難いことと思つています。

書道講座を担当してまる五年。受講生の顔ぶれも少しずつ変わりましたが、小学生が中学校に進級したり高校受験をむかえたりと成長していく姿を目にしているとありますが、皆さんの誠実な書作態度は変わりません。競書誌で楷書を基礎に各書体を習いますが、中には金文（広く篆書体のひとつ）や仮名を学んでいる方もいます。条幅に取り組んで段位を取得された方や展覧会に出品された方もいます。この後更に書学の内容を深めてより充実した講座に出来ればと願つています。

ところで、この講座は東友会と名付けました。三條別院（東別院）に集う書友という意味です。老若男女、多くの友が集まり、書に親しんでいただけならこの上ないことです。毎月第二、第四水曜日に開講しています。どうぞ興味のある方はいらつしやってください。三條別院齋木様はじめ、スタッフの方々が丁寧に対応してくださるはずですよ。

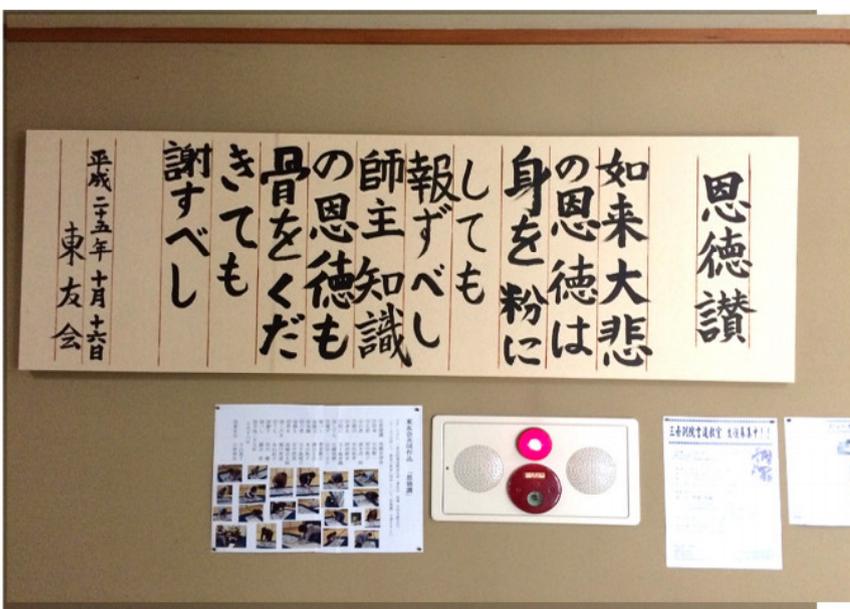
真宗大谷派三條別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sanjo-beitsuin@wing.ocn.ne.jp

木原光威氏（三條別院書道教室東友会指導）

▲三條別院書道教室（東友会）を、木原光威先生指導のもと、5年間続けてきました。小学生からはじめていた子どもたちが、成長と共に卒業したりしていますので、15名程度追加募集します。詳しくはチラシをご覧ください！毎月第2、第4水曜日の18:30～20:00まで。硬筆（ペン字）、細字（小筆）など、ご要望に応じて指導していただくこともできます。



○次回の「三條別院に想う」は、

渡邊 量氏（第二十三組光圓寺）より

ご執筆いただきます。

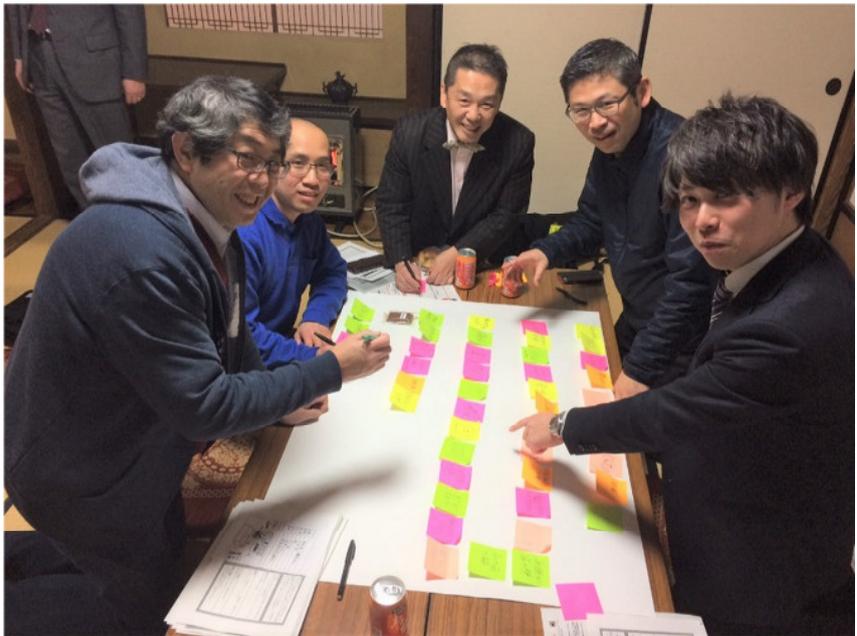
三 条 別 院 公 開 講 座

「地域に開かれた別院」を願いとし、本年も下記の通り、公開講座を開催いたします。今年、あのカンジヤママイムがやってきました！

◆五月十九日（土）三条別院本堂 午後二時～
◆講師 藤倉健雄氏（カンジヤマ・マイム代表 教育演劇学博士。アメリカ仕込みの本格派マイム。現在のテーマは笑いと教育の融合。英語教育などに身体芸を応用したユニークなアプローチを開発している。NHKテレビ「おあさんといっしょ」の身体表現コーナー「パント！」のマイム振付 指導として参加。現在全国で放送中。悩みがあるとインドへ行くというほど仏教にも造詣の深い藤倉氏に。パントマイム・身体・教育・仏教について語っていただきます。どうぞお楽しみに！



がんばる事業者グループ育成事業に伴う勉強会



三条別院お取り越し報恩講×三条中央商店街の取り組みも年をまたいで、一月二十二日には新潟県の「がんばる事業者グループ育成事業に伴う勉強会」が行われました。沼澤啓吾先生（株式会社群馬マーケティングセンター取締役）から、お取り越し報恩講のお土産としてつくっていただいた商品の改善や新たな商品を考え出すための「モホロジカル・スケッチ」という方法を学びました。先生は「今回は質より量を、

そして量を出すためには効率的な法則や方法がある」と語られ、「小松酒店」「つるがや」「むさしや」さんの商品企画書をもとに、さらに面白く魅力的な商品をつくるためのアイデアをみんなを出しあいました。
つるがやさんは「自分は菓子のつくり手なので、どうしてもその目線になってしまっていたが、今日はいろいろな発想を出してもらった」と発言されていました。今年もお取り越し報恩講に向けて動きが始まりました。

宗 祖 御 命 日 の つ ど い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日のつどい」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会を開いております。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。なお、前日（二十七日）はお逮夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。今月は「年頭会」となりますので、同朋唱和でお勤めをし、輪番から法話をいただきます。法話の後は、お齋となります。

◆日 時 二月二十八日（水）午前十時より

◆会 場 三条別院 本堂

◆お勤め（御命日 日中法要）

正信偈 草四句目下（同朋唱和）

念仏讃 洵二

和 讃 回 口 次第六首

回 向 願以此功德

◎今月の法話講師

森田 成美（三条別院輪番）

▲法話後にお齋を「用意しますので、必ず事前にお申し込みください。夏加金は定めておりませんので、志で結構です。

▲今後の講師一覧 く『歎異抄』に聞くく
三月 小林智光氏 (第十二組淨照寺) 【第六章】
四月 濱松智弘氏 (佐渡組勝廣寺) 【第七章】
五月 村手淳史氏 (第二十組光圓寺) 【第八章】
六月 大久保州氏 (佐渡組廣永寺) 【第九章】

定 例 法 話 会

毎月十三日の前門首のご命日(両度の命日)に行っている定例法話会を左記の通り開催いたします。

◆日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く

午後一時三十分より(一時間程度)

◆場所 三条別院 旧御堂

◆講師

二月～四月 関根正隆氏 (第二十二組長徳寺)

◆講 題 「変わることに、変わらないこと」

▲三百年ぶりに故郷新発田へ泉岳寺から分骨された堀部安兵衛についてもお話しいたします。



そ の 他 の 講 座 案 内

○別院声明教室(全五回・途中参加可能)

(月一回、午後六時～八時)

二月二十一日(水)、三月二十日(火)

四月十八日(水)、五月十六日(水)、六月十三日(水)

講習内容 真宗大谷派勤行集(赤本)

講 師 中富正純氏 (第二十三組福照寺)

参加費 五〇〇円/回

○別院書道教室

(月二回第一、第四水曜日、午後六時三十分～八時)

講 師 木原光威氏 (新潟県書道協会理事)

月謝 二七〇〇円(テキスト代含む)

随 時 募 集 中

○別院奉仕研修

日程及び内容については「相談ください。」

◎夏加金 日帰り一五〇〇円、一泊二日二五〇〇円

◎食事代(昼・夕食は業者発注)

・朝食代 五〇〇円、昼食代 一〇〇〇円程度

・夕食代 一三〇〇円程度

○庭講「毎月十三日」

「一緒に別院のお庭を整備していきませんか？」

○三条別院有志の会

月一回の例会、別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。

○三条別院巡回

三条別院から御本尊(絵像)をお迎えして、開法会を開催しませんか？輪番と随行一名でお勤めと法話を行います。

【職員退職のご報告】

この度、一月三十一日を持ちまして、真

宗大谷派三条別院列座兼書記を退職させて

いただきましたこととなりました。約三年間、

法務、書記業務等を担当させていただきました

した。就任当初は大学を卒業したばかり、ま

た私は自坊が高田教区ということもあり宗門、また三条教区

についてまったく知識の無い中のスタートでしたが、快く受け

入れてくださった三条教区の皆様にご教授いただき、これ

まで三条教区別院御遠忌法要、三度の三条別院報恩講に携わ

ることができましたことを御礼申し上げます。思い返すたびに

三条別院は私の生涯においてとても大切な場所であると

感じます。この三条別院で頂いたことがあったからこそ、私

も親鸞聖人と同じ「信心をいただけたのだと思います。今後は、

高田教区の自坊にて僧侶として生きていきたいと思います

おりますが、皆様から頂いた「信心を常に反芻し、問い続け

ていきたいと思っております。

ありがとうございました。

森尻唯心

◆◆編集後記◆◆

例年になく冷え込みの中、皆様いかがお過ごしでしょうか。別院では真冬には、お内陣の花瓶には水を入れません。凍結で膨張し、花瓶が破損する恐れがあるためです。そのような気温が氷点下になる早朝の本堂に、毎朝欠かさず通って来て下さる参詣者の方々。誠に頭の下がる思いです。

この冬の厳しさはしばらく続きそうです。何卒皆様、ご自愛のほどを。
(松浦)



三条教区通信

第126号

発行日 2018年2月1日
発行者 三条教務所長 森田成美
発行所 真宗大谷派三条教務所
〒955-0071 三条市本町2丁目1-57
E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp
Webサイト: http://sanjobetsuin.or.jp/

三条教区

今月の法語

〔真宗教団連合『法語カレンダー』より〕

しんじん

信心のさだまるとき

おうじょう

往生またさだまるなり

『末燈鈔』親鸞聖人

At the very moment that shinjin is settled,
so is birth.

Lamp for the Latter Ages, Shinran Shōnin

三条教区災害対策委員会のお知らせ

災害支援実行委員会の 活動資金にご協力ください

主に春と夏の保養事業を活動内容としております災害支援実行委員会の活動資金収入であります災害救援・復興カンパ金につきまして、2017年度においてご協力いただいた金額は203,860円となりました。

御礼を申し上げますとともに、今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

東日本大震災及び熊本地震については、宗派の救援金口座も引き続き設けられておりますので、教区と同様に何卒ご協力の程、お願い申し上げます。

宗派 東日本大震災救援金口座

【郵便振替口座番号】01030-4-2244

【加入者名】真宗大谷派宗務所財務部(救援金)

宗派 熊本地震救援金口座

【郵便振替口座番号】01010-0-2608

【加入者名】真宗大谷派宗務所財務部

研修会のご案内

「差別と真宗」共学研修会

案内既送

- ◆日時 2018年3月1日(木) 14:00
- ◆会場 教区同朋会館
- ◆講師 藤野 豊氏(敬和学園大学教授)
- ◆テーマ ハンセン病に学ぶ

- ◆講題 「戦争とハンセン病」
 - ◆参加費 500円
 - ◆対象 どなたでも(申し込み不要)
 - ◆問合せ 三条教務所(担当:高田)
- 教学研究会 案内同封
- ◆日時 2018年3月5日(月)~6日(火)
 - ◆場所 教区同朋会館
 - ◆講師 藤場俊基氏(金沢教区常讃寺)
 - ◆内容 『教行信証』化身土巻
 - ◆参加費 500円
 - ◆対象 どなたでも(申し込み不要)
 - ◆受講証 第2種発行(教師陞補のために1枚必要なもの)
 - ◆問合せ 三条教務所(担当:西山)

- 同朋の会教導連絡協議会・研修会(聴講受入) 同封
- ◆日時 2018年3月9日(金)14:00~16:30頃
 - ◆場所 教区同朋会館
 - ◆講師 渡邊晃純氏(岡崎教区守綱寺)
 - ◆対象 同朋の会教導、聴講はどなたでも
 - ◆備考 講義・質疑の時間、聴講可(申込不要)
 - ◆問合せ 三条教務所(担当:西山)

- 推進員・育成員共学研修会(新潟市) 案内同封
- ◆日時 2018年3月12日(月)13:30~17:00
 - ◆場所 金寶寺(新潟市中央区)
 - ◆講師 本多雅人氏(東京教区東京2組蓮光寺)
 - ◆対象 推進員・育成員の方
 - ◆申込み 2月23日(金)締切
 - ◆問合せ 三条教務所(担当:西山)

- 「靖国問題」基礎講座 案内既送
- ◆日時 2018年3月16日(金)14:00
 - ◆会場 教区同朋会館
 - ◆講師 工藤和雄氏(弁護士)
宮本亮二氏(高田教区榮恩寺)
 - ◆テーマ 信心の課題として改憲問題を考える
 - ◆参加費 500円
 - ◆対象 どなたでも(申し込み不要)
 - ◆問合せ 三条教務所(担当:高田)

- 首都圏在住 新潟県出身ご門徒 お彼岸のつどい 既送
- ◆日時 2018年3月18日(日)10:00~14:30
 - ◆場所 真宗会館(東京都練馬区)
 - ◆対象 首都圏在住のご門徒とお手次寺院(新潟県)
 - ◆申込み 2月23日(金)締切
 - ◆問合せ 三条教務所(担当:西山)

- 推進員・育成員共学研修会(佐渡市)
- ◆日時 2018年3月25日(日)13:00~26日(月)10:30頃
 - ◆場所 ホテルニュー桂
 - ◆講師 渡邊 学氏(第23組明正寺)

② 三条教区・三条別院宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌 「親鸞さんに あおう」

◆対象 広く推進員・育成員の皆様を対象ですが、佐渡組推進員一泊研修会として開催されるため、佐渡組外の方で参加を希望される方は聴講参加となります

◆申込み (佐渡組以外)2月23日(金)締切
(佐渡組)組内の案内を参照のこと

◆問合せ 三条教務所(担当:西山)

■ 声明基本講習会 案内同封/申込用紙既送

◆日時 2018年3月27日(火)9:30～

◆場所 教区同朋会館

◆講師 声明講習会部門スタッフ

◆対象 どなたでも

◆参加費 500円

◆申込み 3月9日まで申込用紙またはお電話で

◆問合せ 三条教務所(担当:天兒)

■ 教区女性研修会 案内同封

◆日時 2018年3月29日(木)9:30～

◆場所 三条別院

◆講師 三明智彰氏(九州大谷短期大学学長)

◆テーマ 「正信偈に学ぶ」～人身受け難し～

◆講題 「生まれた意義と喜び―出世本懐―」

◆対象 どなたでも

◆参加費 1,500円(昼食代を含む)

◆申込み 3月23日まで

お寺または女性研修会部門スタッフへ。もしくは教務所へ。

◆問合せ 三条教務所(担当:宇佐美)

■ 新任教師研修会 予告同封

◆日時 2018年5月10日(木)～11日(金)

◆会場 教区同朋会館

◆講師 狐野秀存氏(大谷専修学院長)

◆対象 大谷派教師資格取得後5年以内の方または寺院に戻って5年以内の方、その他、受講を希望される大谷派教師の方

◆問合せ 詳細・申込については後日お知らせします。

■ 真宗教団連合新潟県支部 公開講演会 案内同封

◆日時 2018年3月7日(水)14:00～

◆会場 浄土真宗本願寺派新潟別院

◆講師 安藤けい一氏(浄土真宗本願寺派僧侶)

◆演題 「野洲花見ヶ岡大蛇経鱗(約90分)
親鸞聖人に関連する説話をひとり人形芝居により解り易く演じます。

◆参加費 無料

◆申込み 2月末日まで三条教務所へお電話・FAX・Email等にて。キャンセルの連絡は不要です。

■ 教区坊守研修会報告

第21組 願浄寺 北山真澄

2017年11月30日、三条別院旧御堂にて、72名の皆様が集い、三条教区坊守研修会が開催されました。今年はお仕事をされている方や遠方の方もお集まりになりやすいようにということで、午後から半日の研修会でした。

研修は、大谷派僧侶であり産業カウンセラーでいらっしゃる三橋尚伸先生に「寺離れ・宗教離れの理由～外から見た真宗と、「私」の分別心～」というテーマでお話をいただきました。先生は世間、外から見た僧侶・寺の姿と、身内・寺

に生活する私たちが抱えている寺離れ・宗教離れの現実を鋭く話されました。寺に生活する身の私が、こんなふうに見られている、こんなふう思い込んでしまっている。そんな現実を突き付けられました。



三橋尚伸氏(真宗大谷派僧侶・産業カウンセラー)

宗教離れの現実、寺に身を置くものの矛盾、世間から見られている姿に、わかってはいたけれど目を背けているのではないか。そんな話が続きまして。さらに、真宗とカルトの違い、真宗が今日までなくならなかったのはなぜか。三橋先生は「教えが本物だからです。」と、おっしゃいました。しかしその教えに私はどう生きているか、先生のお話は、常に我が身を問うものでありました。教えも、自分の都合のよいように解釈してしまっているのではないか。よくよく自分勝手にできている私の思い、「自分」という人間がどう生きているか。そして、その現実を受け止め、どう生きるのかを考えさせられました。



講義の様子 於三条別院旧御堂

また、当日は30分という少し長めの休憩時間を取り、お近くの方と語る時間を持つ一方で、普段、別院の本堂をお参りしても立ち入ることのない後堂等を別院の列座の方に説明しながら案内をしていただく時間を皆様と共有させていただきました。初めて目にされた方もいらっしゃる、貴重な時間になったのではないかと思います。

■ 三条教区推進員教習前期教習を終えて

第20組 西方寺 推進員 鈴木 孝

同朋の会推進講座(旧称 推進員養成講座)は組単位で開催されていますが、計画がなされていない組もあります。そのような組において、寺院で「この人たちに推進員になってもらいたい」と思われた時、三条教区推進員教習があります。

本年度は、2017年12月9日～10日に三条教区同朋会館で実施されました。12名の参加者でした。

講師は、塚本智光先生(第18組等運寺住職)です。講義の講題は、「念仏成仏これ真宗」でした。わたしは、推進員として、教区教化委員会研修部会「推進員教習」部門のスタッフとして参加しました。

念仏成仏これ真宗 万行諸善これ仮門
権実真仮をわかずして 自然の浄土をえぞしらぬ
『浄土和讃』真宗聖典 485頁)



座談会の様子 於いて三条教区同朋会館

塚本智光先生の講義と受講者の熱心な座談の中で、親鸞聖人の教えに出会ったばかりの時、私が出会った疑問・課題を思い出していました。「真宗」、「成仏」、「念仏」、「往生」、「凡夫」、「法蔵」、「二尊教」、「名号」、「称名」、「聞名」等の仏教語を理解することで頭が一杯になった事、「神社(神道)」と「寺院(仏教)」の違い、初詣・七五三・お宮参り等神社に行く自分と寺院との関係。何か、モヤモヤしていた自分を座談の中で見ていました。

12月9日に行われた仏具のお磨きや食事の準備・後片付けなど、受講者とスタッフが協力し和やかに進められました。



三条別院職員と仏具のお磨きをする参加者 於三条別院旧御堂

1泊2日の日程を共に過ごし、「何か一つでも頭に浮かぶ事があればいいなあ」と思いました。

さて、4月8日～10日までの日程で後期教習が真宗本願寺東本願寺で実施されます。一推進員として、「念仏の行者」になるために共に生き共に今後とも学び続けていきたいと思います。

教務所からのお知らせ

◎法務お手伝いの募集について

新潟市中心部の御寺院で法務手伝いのできる方を探しています。ご希望の方は教務所(TEL 0256-33-2805 担当

結城)までご連絡ください。

◎教区行事予定表 2018年

2/1(木)	14:00	「是梅陀羅」学習会に関する会議
2/6(火)	14:00	御坊市執行部会議
2/7(水)	15:00	推進員教習部門会議
2/8(木)	14:00	教化センター
2/14(水)	14:00	「差別と真宗」共学研修会部門会議
2/15(木)	14:00	教化センター
2/16(金)	10:30	女性研修会部門会議・学習会
2/19(月)	14:00	推進員連絡協議会執行部会議
2/20(火)～2/22		東北大地震被災地視察(教化センター)
2/23(金)	14:00	～24(土)16:00 企画委員会
2/26(月)	10:30	推進員連絡協議会役員会・新年会
2/27(火)	13:30	坊守研修会部門会議
	14:00	連絡協議部会 御坊市執行部会議
2/28(水)	14:00	推進員教習部門会議

行事日程(会場)重複防止の便宜上、教区・別院主催以外の行事が一部含まれます。また、日程は変更される場合があります。

「駐在教導のつづやき」はお休みさせていただきます。

新潟親鸞学会からのお知らせ

特別講座のご案内

地元の門徒・寺院が近世、どのように信心をいただいていたのか。信心論争として名高い三業惑乱に先立って越後で大騒動となった願生寺事件、それに先立って新潟寺町の寺院が二つに割れて争った新潟法中出入事件など、後の三条別院設置につながる越後門徒の熱い信心論議について、太田浩史師から読み解いていただきます。

- 日時 2018年3月9日(金)
受付 13:30～ 開会式 14:00～
講演 14:10～ 閉会式 16:10～16:30
 - 会場 真宗大谷派 勝念寺
新潟市中央区西堀通7番町 1558
TEL 025-222-0470
※ 駐車場は近隣の有料駐車場をご利用ください。
 - 講師 太田浩史氏(真宗大谷派高岡教区大福寺)
 - テーマ 「越後の信心の歴史について」
- 「三業惑乱と新潟法中出入」事件について -
 - 聴講料 無料(定員 100人)
17:30 より講師を囲んでの懇親会をイタリア軒にて(会費 6,000円予定。当日徴収)開催。
 - 申込み 2月末日まで(但し定員になり次第締切)
FAXにて「お名前」「電話番号」「特別講座・懇親会参加の有無」を新潟親鸞学会事務局(FAX 025-222-2830)まで。
 - 共催 真宗教団連合新潟県支部
- 詳細は本号同梱のチラシをご覧ください。

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄 超願寺内
〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 783
Tel 025-222-2820 Fax 025-222-2830 Mail choganji@nifty.com